

くっさだいわ

新年のご挨拶

松江赤十字病院 院長 大居 慎治

あけましておめでとございます。

いよいよ平成最後で新元号最初の年となりました。医療技術の進歩はめざましく、がん治療領域においては昨年ノーベル医学生理学賞に輝いた本庶佑先生の研究による免疫療法の薬（オプジーボ）はすっかり有名になりましたが、薬のみならず免疫細胞を利用した免疫療法（CAR-T療法）の実用化も間近のことです。2012年にノーベル賞を受賞した山中伸弥教授が開発したiPS細胞を利用した再生医療、病態解明、新薬開発も確実に進歩しており、その臨床応用も始まっております。他の領域においても画期的な新薬は次々と登場しています。遺伝子診断をもとに最適な治療を行うゲノム医療もこれから発展するでしょう。遺伝子そのものを改変する治療も登場するかもしれません。

人工知能（AI）の医学応用も着実に進んでいます。もともと進んでいるのが画像診断のソフト開発で、CTやMRIなど特にデジタル化が進んでいるものについて病変の指摘や質的診断などが行われています。病理診断についても応用が進ん

でいます。診断部門でもIBMのワトソンという診断ソフトが登場しています。医療ビッグデータを利用した診療支援、例えば最適な検査の提案や薬の相互作用なども開発中です。

では、放射線科医師や病理医、診断部門の医師（ドクターG）が不要になるのでしょうか。それは決まてないでしょう。確定診断は人工知能にはできないからです。人間は感情も含めてとても複雑系であり、そもそも診断に確固たる正解はあるのかという大きな疑問がありますし、治療までには多くの意思決定のステップがあるからです。人工知能はあくまでも医療支援に留まりそうです。

ということで、医療はまたまた医療者に多くを依存することになります。むしろ医療の本質は変わっていないと言ったことでしょうか。医療の善し悪しは依然として医療者の資質や振る舞いによって決まります。

今年も良質な医療を提供できるよう職員一同頑張る所存です。今年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。



診療科紹介

Clinical Department

消化器内科



消化器内科は食道・直腸にわたる消化管のみならず肝臓・胆嚢・胆管・脾臓を含めた消化・吸収に関わる多くの臓器を担当しています。そのため診療対象疾患は多岐にわたり、代表的なものを紹介すると消化管では良・悪性腫瘍、逆流性食道炎、胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎や

クローン病などが、肝臓ではB型・C型肝炎をはじめとする肝炎、肝硬変、肝細胞癌、そして脾・胆道では急性・慢性の脾炎、脾臓癌、胆嚢炎、胆管結石、胆道癌が挙げられます。当科スタッフはそれぞれを専門とする医師で構成され、3次救急病院として高度急性期医療を担うのみならず、地域がん診療連携

拠点病院としてがん治療にも積極的に取り組んでいます。
また、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本超音波医学会、日本消化管学会、日本カプセル内視鏡学会の指導施設として将来の消化器診療を担う後進の指導・育成にも力を入れています。

外来診療

平日午前11時に本館2階Fブロックで2〜3名が外来に出ており、紹介患者様の初診や治療中の再診患者様の診療にあたっています。外来化学療法の実施、専門領域の疾患についての相談にも積極的に対応しています。

入院診療

高層館8階の消化器病センターで診療しており、外来からの予定入院はもとより、診療所や近隣医療施設から紹介・搬送される中等〜重症患者様を積極的に受け入れています。センターでは毎週消化器外科、放射線科、病理診断科と合同カンファレンスを行い、内視鏡治療や手術、化学療法、放射線療法などそれぞれの患者様に最適な集学的治療を行っています。

救急外来

救急外来担当医からの対診要請にオンコール体制で即応し、24時間いつでも専門的な診療を提供します。

検査・治療

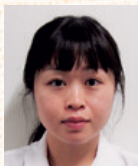
当科の医師は外来診療日を除き随時、内視鏡や超音波のスクリーニング検査から精密検査および治療を行っています。

病診連携も円滑に行っており、昨年6月には脾臓癌の治療成績向上を目指した脾臓プロジェクトを立ち上げ、地域の30以上の診療所と協同し診療を続けています。私たちはこれから、地域の皆様に親しまれ皆様の健康を守る診療科として、質の高い最新の高度急性期医療が提供できるよう日々努力して参ります。

1月 introduce

採用医師紹介

Hello Doctors



小児科

門脇 紗織

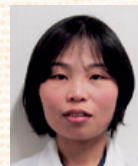
はじめまして。岐阜県から島根大学を経て赴任してきました。島根は本当にお魚がおいしくて人も優しく良い所です。皆さんのお力になれるよう頑張ります。



整形外科

奈須 友裕

地域の皆様のお役に立てるように精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



乳腺外科

川又 あゆみ

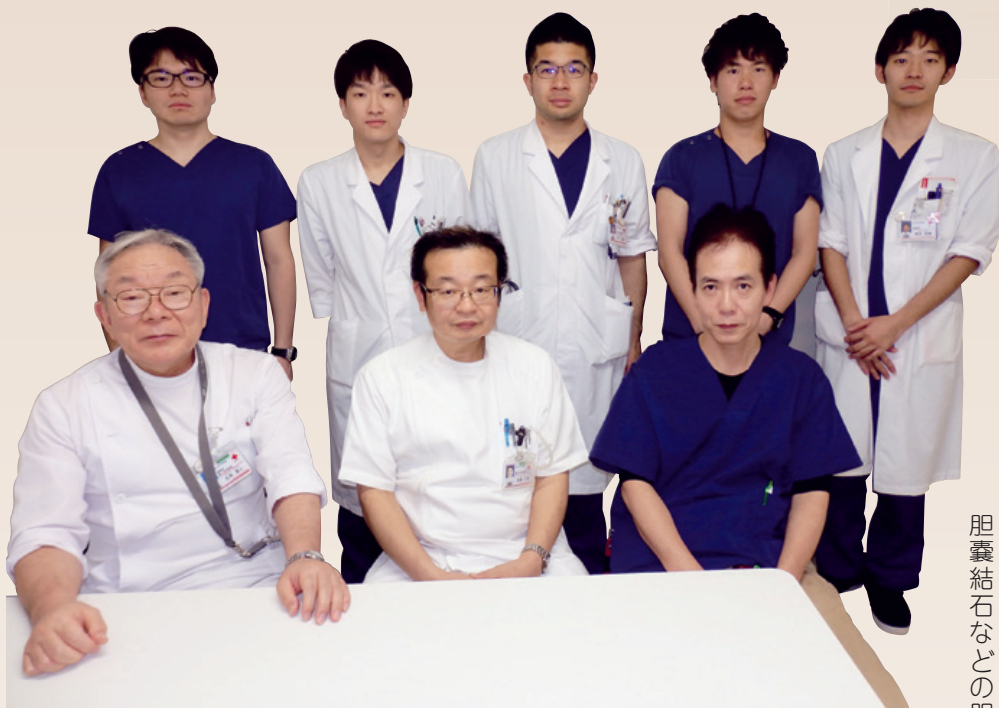
1月から乳腺外科に赴任いたしました。皆様が安心して受診、治療を行えるよう精進いたします。よろしくお願いいたします。



診療科紹介

Clinical Department

消化器外科



当院の消化器外科は食道・胃・小腸・大腸に至る消化管と、肝臓・胆嚢・胆管・脾臓などの肝胆脾疾患の悪性腫瘍および炎症などの急性期疾患の外科的治療を専門として診療しています。その他、単径ヘルニアや肛門疾患の診断および治療、腹部を中心とした外傷救急診療なども行っております。

平成29年の当科における年間手術件数は584件で、そのうち全身麻酔手術が377件でした。内訳は胃癌などの上部消化管疾患が54件、結腸直腸癌などの大腸疾患が153件、食道癌3件、虫垂炎などの虫垂疾患21件、イレウスなどの小腸疾患32件、肝癌などの肝疾患13件、脾癌などの脾疾患4件、胆嚢結石などの胆嚢疾患78件などとなっています。体に

やさしい低侵襲な手術である腹腔鏡を用いた鏡視下手術は以前より積極的に取り組んで参りましたが、平成29年は127件と近年さらに増加傾向にあります。当院は松江圏域での救急搬送患者の4割以上を受け入れており、隠岐諸島からのヘリコプター搬送も多く、消化器疾患の救急患者も多数来院されています。平成29

年1年間ではそのうち当科にて緊急手術を要した患者様が99名に上りました。可能な限り通常診療に差し障りのないように配慮しておりますが、緊急および急変対応などで特に外来患者様へご迷惑をおかけすることもあり、大変申し訳なく思っております。

島根県は高齢化率(65歳以上)が全国都道府県で3番目と超高齢県であり、都会と比較すると手術患者の年齢構成が高いため、脳卒中などの脳神経疾患、心筋梗塞などの循環器疾患、糖尿病などの併存疾患を有する患者様も多く、麻酔科を含む他科と緊密に連携して、場合により集中治療室での術後管理も行い、手術および周術期管理をより安全に行えるように努めております。また週1回、消化器内科・病理診断科との合同カンファレンスを行い、手術などの侵襲的治療の可否や、より安全かつ有効な治療方法の模索など、連携して治療方針を決定しています。

今後も増加が見込まれる悪性疾患をはじめ、突然発症する急性期疾患なども含め松江圏域での消化器疾患治療の一翼を担うべく、患者様へやさしく安全な治療を心掛けて参ります。

患者総合支援センターをオープン

このたび当院では「患者総合支援センター」を開設しました。これは、患者さまへ外来受診から退院までのさまざまな支援を一元的に行う部門です。

これにより、必要な情報をいち早く収集し、患者さまに必要な術前指導、術前外来呼吸リハビリを導入することが可能となり、術後に起こる肺炎など呼吸器合併症の発生率を低減させることが期待できます。さらに、通院中や入院中の患者さまのご相談も同センターで対応できる体制を作っていますので、より安心して療養していただけるものと思います。



患者満足度 アンケート 結果報告

調査期間
平成30年10月22日～26日
調査対象
外来患者586名／入院患者201名



平成30年10月に行った患者満足度アンケートの結果を抜粋してご報告します。
入院・外来ともに、「患者さんの話を聞いている」ことについて評価をいただいた一方、外来での評価は、「待合室の環境」について「椅子が足りない」「待ち時間がわかるようにしてほしい」というご意見をいただいております。駐車場についてもご意見をいただいております。入院につきましては、スタッフの対応がとても良かったとご意見がある一方、対応が良くなかったというご意見もありました。
ご指摘いただいた内容につきましては、みなさんからのご期待に沿えるよう、より良い医療サービスの向上に繋げてまいります。

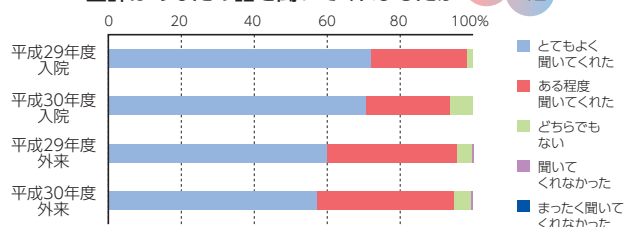


当院への満足度を5点満点で評価していただいた結果…

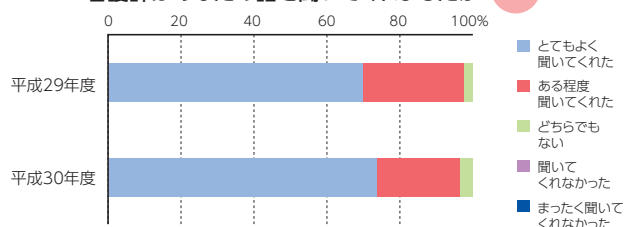


	評価が高かった項目	評価が低かった項目
外来	医師はあなたの話を聞いてくれましたか 4.5点	待合室の環境はいかがでしたか 3.9点
入院	看護師はあなたの話を聞いてくれましたか 4.6点	食事の献立はいかがですか 3.6点

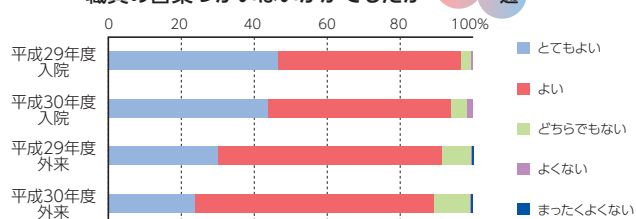
医師はあなたの話を聞いてくれましたか 入外共通



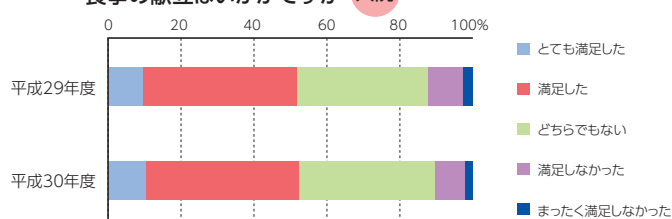
看護師はあなたの話を聞いてくれましたか 入院



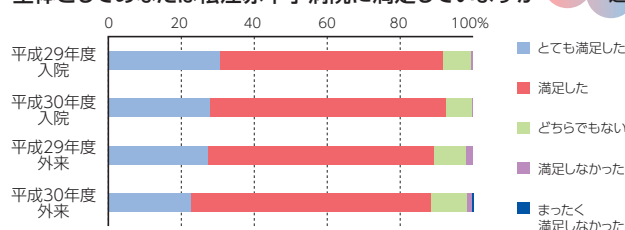
職員の言葉づかいはいかがでしたか 入外共通



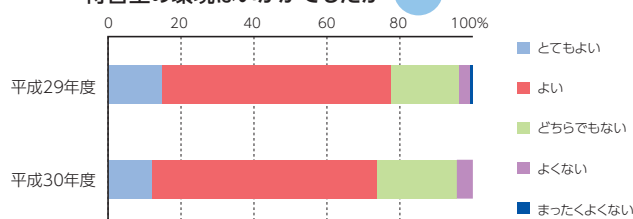
食事の献立はいかがですか 入院



全体としてあなたは松江赤十字病院に満足していますか 入外共通



待合室の環境はいかがでしたか 外来



■病院理念…… わたしたちは、「人道・博愛」の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献します。

■基本方針……

- ① 地域の基幹病院として、説明と同意に基づく「高度」「良質」な医療を提供します。
- ② 急性期病院として保健・医療・福祉・介護機関との連携を進め、一貫した医療を行います。
- ③ 救急病院として24時間地域の健康を守ります。
- ④ 赤十字病院として災害救護に貢献します。
- ⑤ 教育病院として次世代の医療人を育てます。

松江赤十字病院『患者さまの権利』

1. ひとりの人間として人格と価値観を尊重される権利があります。
2. 医療提供者との相互協力のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 検査・治療法などの自分が受ける医療の内容について、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。

4. 説明を十分理解し同意した上で、医療行為を受けるかどうか自分の意志で選択する権利があります。
5. 医療行為の選択にあたって、他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報、個人の秘密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない権利があります。
7. 自分が受けている医療内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。

私たちが、上に掲げた患者さまの権利を尊重した医療を提供するために、患者さまには次のことをお願いいたします。

- ① 自分の健康に関する正しい情報の提供
- ② 医療への積極的な参加
- ③ 病院の規則を守ること
- ④ 研修医、医学生、看護学生などの研修・実習・見学への理解と協力